

私は町民クラブを代表して、議案第 8 号 平成 21 年度武豊町一般会計予算に関し、賛成の立場から討論をさせていただきます。

昨年来、米国サブプライム住宅ローン問題を背景とした世界経済の減速や金融資本市場の急激な変動などが我が国経済にも大きな影響を与えており、新しい年度を向かえるにあたって、引き続き留意していかなければならない状況です。

本町においては、個人町民税、法人町民税などの大幅な減収が見込まれる中、第 5 次武豊町総合計画（たけとよゆめたろうプラン）の基本構想、「心つなぎ みんな輝くまち 武豊」の 2 年目に向けた 21 年度予算が編成されました。

私たち町民クラブでは、町民との対話を基本とした調査研究活動と会派内での度重なる議論を通して、新年度予算に対する要望を取りまとめ、昨年 9 月 17 日、初山町長にあて、会派予算要望の申し入れを行いました。

その内容の主な 3 点を紹介させていただきますと、1 点目の「安心・安全なまちづくり」としては、学校施設の耐震化の更なる推進、通学路の安全確保の促進、自主防災組織への、活発な活動に繋がる積極的な補助、防犯灯の増設など、2 点目の「子育て支援の充実」としては、保育園舎の耐震化の促進、児童クラブ定員の拡大、児童遊具の充実促進など、3 点目の「環境関連」では、住宅用太陽光発電普及の推進、各ため池・河川の水質浄化努力の推進、学校トイレの水洗化など、その他にも生涯学習や都市計画、産業発展など、第 5 次総合計画の目指す武豊町の実現に向け、各施策の積極的な推進と実行を求めるものとなっております。

我が町民クラブは、平成 21 年度予算案について、本議会、委員会を通して、予算要望を含む様々な角度からその内容を検討させていただきました。残念ながら文教厚生委員会においては、我が会派が賛成する中、反対多数で否決の結果となりましたが、本予算については、現下の厳しい経済状況の中、武豊町全職員が一丸となり、中長期的な財政見通しを繰り返し精査し、限られた財源を真に必要な施策に優先的かつ重点的に配分するなど、広範囲に亘る町政の重要課題に適切に配分されており、町民の理解は十分得られるものと判断するものであります。

本年は町制 55 周年の節目の年となります。新年度予算が、さらなる町民サービスの充実と町政の発展に資するものとなることを強く期待するものであります。

何とぞ全員の賛同を賜りますようお願いを申し上げ、議案第 8 号に対する賛成討論を終わります。